

7/26は土用の丑の日ですが…



鰻を食べるのは…

日本では夏の土用の丑の日に、暑い時期を乗り切る栄養をつけるために鰻を食べる習慣があります。鰻を食べる習慣についての由来には諸説ありますが、江戸時代の蘭学者平賀源内が発案したという説が最もよく知られています。商売がうまく行かない鰻屋が、夏に売れない鰻を何とか売るため源内の所に相談に行ったところ、源内は、「丑の日に『う』の字が附く物を食べると夏負けしない」という民間伝承からヒントを得て、「本日丑の日」と書いて店先に貼ることを勧めました。すると、物知りとして有名な源内の言うことならということで、その鰻屋は大変繁盛したそうです。その後、他の鰻屋もそれを真似るようになり、土用の丑の日に鰻を食べる風習が定着したといわれています。

鰻屋が一番繁盛する時期ですが、ほかにも「う」のつくもの（うめぼし、うどん、牛など）を食べると夏やせしないといわれています。また、土用の丑の日に海水浴や川遊びなどを行うと夏の間病気しないとか、お灸をすえると効く、などの説もあります。

夏負けしないようにといろいろな知恵をしぼって工夫してくれた昔の人々に感謝したいですね。

でも…



LaLaの家なら…

最高気温が35度を超えるような毎日では、室内にいても夏バテしたり、ひどいと熱中症になってしまうこともあります。

ここで大事になるのが家の性能です。
いくら鰻を食べて元気になろうとしても、家がしっかりしていなければ健康ではられません。

LaLaのスーパー遮熱工法なら鰻以上にあなたを守ってくれること間違いなしです。
確かな断熱性能と気密施工により一歩進んだ快適空間をお届けします。